

平成25年度「地域拠点と連携によるICT連動型臨床実習」事業  
札幌医科大学地域包括型診療参加臨床実習 外部評価表

番号	実 施 計 画		事 業 実 績		A 委員	B 委員	C 委員	D 委員	E 委員					
	項 目	具 体 的 な 内 容	補 助 事 業 実 績											
1	6 学年選択実習における診療参加型臨床実習の試行【TV会議実施と実地視察】	(1) 本学教員による現地視察及び学生、指導医との意見交換による診療参加型臨床実習の内容を評価する。	(1) 実習受入病院(釧路・留萌・松前)に本学の臨床教員を配置(委嘱)するとともに、各地域ごとに実行委員会委員(教員)2名を担当させ、実習期間中に各クール2回の現地視察を実施した。視察において学生、指導医等と意見交換を行い、帰学後、実習内容の評価を行った。		B	A	A	A	B					
		(2) 大学と実習受入病院とのTV会議システムによるカンファレンスを開催し、実習内容と教育効果を検討する。	(2) 実習期間中にTV会議による3病院合同カンファレンスを計5回実施し、学生が症例発表等を行った。本学では企画運営委員会および関係領域の教員が参加した。											
2	診療参加型臨床実習企画・運営委員会における平成25年度臨床実習内容の評価	(1) 実習受入病院の指導医・学生等によるアンケートを実施し、その結果と視察教員からの報告等を基に臨床実習内容の検証と評価を行う。	(1) 実習受入病院責任者(院長等)、指導医、視察教員、学生に対しアンケートを実施し、その結果に基づき実習内容の総括を企画・運営委員会において行い、平成26年度に向けた方針を示した。		A	A	A	B	A					
3	診療参加型臨床実習に関する学内でのFDシンポジウムの開催	(1) 公開セミナー及びシンポジウム形式による学内FDを開催する。	(1) 平成25年12月に、「初期臨床研修へ実効性のある臨床実習を目指して」をテーマとした公開セミナーを、企画運営委員会と本学FD委員会との共催で実施した。講師には、診療参加型臨床実習の実績がある筑波大学附属病院の教員を招聘し、水戸協同病院の取組みについての講演後、平成25年度実習受入病院(3カ所)の実習指導医を交えたパネルディスカッションを行った(来場者130名程度)。		A	A	A	A	A					
		(2) 学内教員に対し診療参加型臨床実習の重要性と実習内容についての情報共有を図る。	(2) このセミナーには、内科、外科、小児科、産科等の基本診療科を含む15部署の臨床系講座教員が参加しており、診療参加型臨床実習の重要性などについての情報を共有する場となった。											
		(3) 平成26年度以降各講座で実施するクリニック・クラークシップへの反映を促進させる。	(3) プログラムにある「事業概要説明」の中で、医学教育認証評価制度導入に伴う本学での診療参加型臨床実習の必要性を説明し、参加教員に取組促進の意識付けを行った。											
4	平成26年度実習受入病院の増加と地域の医療、保健・福祉施設における実習実施の依頼	(1) 平成26年度については新たに2病院を追加し、計5病院での実習を可能にする。また、実習受入病院の院長を含む実行委員会を開催する。	(1) 平成26年度の実習受入病院を確保するため、「協力依頼訪問要項」を作成し、実行委員会委員(教員)による病院訪問を実施し、新たに5カ所の病院から協力を得られることとなった(計8カ所)。また、実習受入病院の院長を含めたテレビ会議システムによる実行委員会を開催し、当委員会における実習内容の総括を行った。		A	A	A	A	A					
		(2) 新規実習受入病院に対し、実習内容を示すとともに、地域の医療、保健・福祉施設(以下「サテライト施設」という)における実習のコーディネートに依頼する。	(2) 実行委員会委員(教員)の中から各病院の担当者を決め、実習受入病院において当事業概要の説明と実習目的・内容を説明した。またサテライト施設での実習についてコーディネートを依頼した。											
5	平成26年度実習受入病院の指導医(臨床教員)に対する実習概要説明会の実施	(1) 平成25年度実習受入病院と平成26年度新規病院に本学教員を派遣し、実習概要説明会を実施することで共通認識を図る。	(1) 平成26年度実習受入病院への「実習概要説明実施要項」を作成した上で、実行委員会委員(教員)が8病院へ出向き、医師、看護師・医療従事者等に対し、実習目標、内容、指導体制等について説明し、本学と病院側との認識の共有を図った。		A	A	A	A	B					
6	診療参加型臨床実習に参加する医療、保健・福祉施設との実習内容打合せ	(1) 平成26年度実習受入病院と連携するサテライト施設との実習内容の協議・調整を行う。	(1) 現在、実習受入病院を通じて、サテライト施設に対する実習目標を提示し、学生の受入を依頼した。また、対面での説明を希望する施設については、その都度、実行委員会委員(教員)が直接出向く方針とした。		A	B	B	A	A					
Aが5項目以上で「Ⅳ」 Aが4項目で「Ⅲ」 Aが2～3項目で「Ⅱ」 Aが0～1項目で「Ⅰ」					総合評価					Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅲ
平成25年度外部評価結果						Ⅳ								